

リモートI/O変換器 R3 シリーズ

取扱説明書

ベース

形式

R3-BS

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・ベース1台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●EU 指令適合品としてご使用の場合

- ・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず導電性の制御盤内に設置して下さい。
- ・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体でCEマーキングへの適合を確認していただく必要があります。

●取扱いについて

- ・本器の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源を遮断して下さい。

●設置について

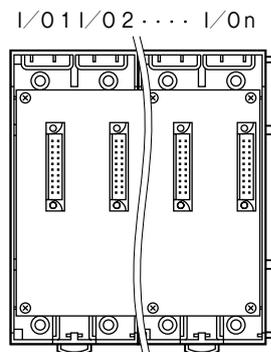
- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -10 ~ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

各部の名称

■前面図

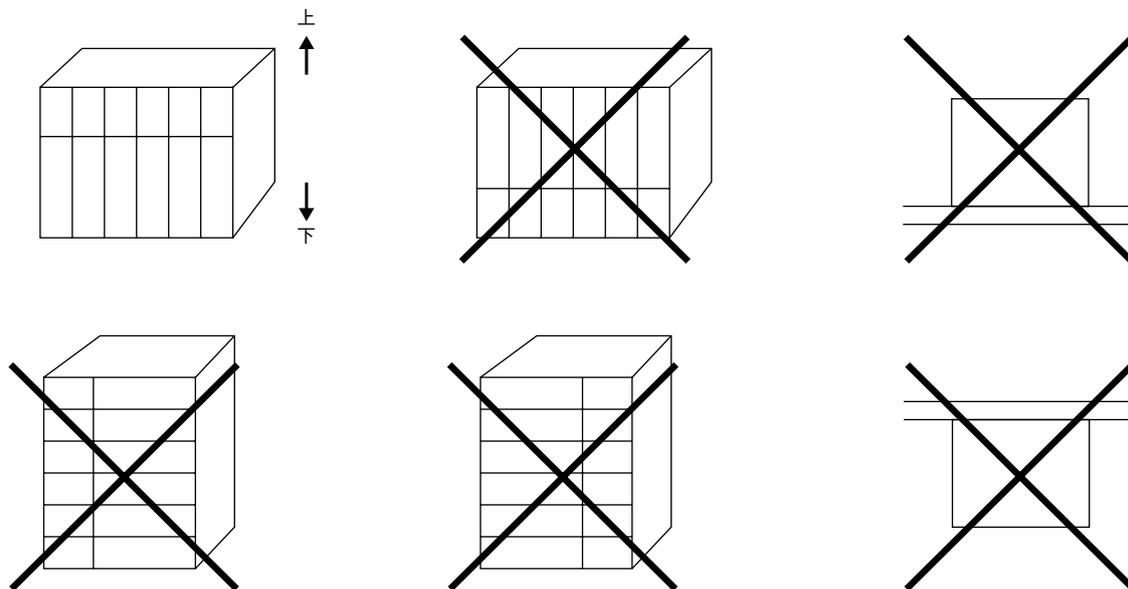


入出力カードは、I/O 1 から順に実装して下さい（通信カードに対し、I/O 1 から割付けられます）。通信カードは入出力カードの右側、電源カードは放熱を考慮するため、必ず右端に配置して下さい。電源 2 重化の場合は 2 台連続して右端に配置して下さい。

取付方法

■取付方向

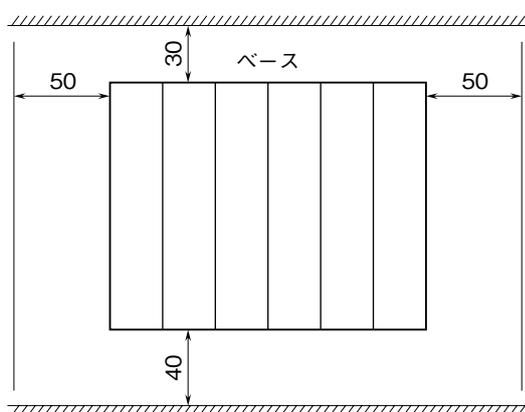
取付は、下図のような垂直取付を行って下さい。垂直取付以外の取付は、内部温度の上昇により、寿命の低下や性能低下の原因となります。



■盤内への取付

- ・通風スペースを十分にとること
- ・ヒータ、トランス、抵抗器などの発熱量の多い機器の真上には取付けないこと
- ・保守などのために、上下にスペースを設けて下さい。

盤の天井、配線ダクト（高さ50mm以下）を示す。



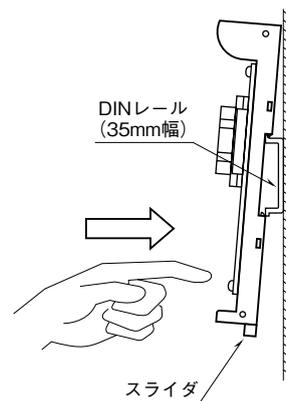
盤の底板、配線ダクト（高さ50mm以下）を示す。

■DIN レール取付の場合

本体はスライダのある方を下にして下さい。

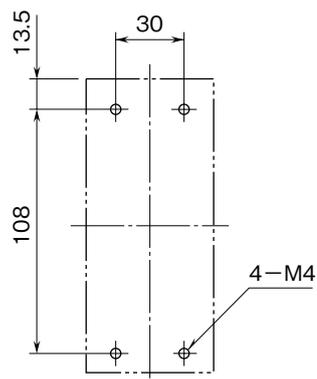
本体裏面の側フックをDIN レールに掛け下側を押して下さい。

取外す場合はマイナスドライバーなどでスライダを下に押下げその状態で下側から引いて下さい。

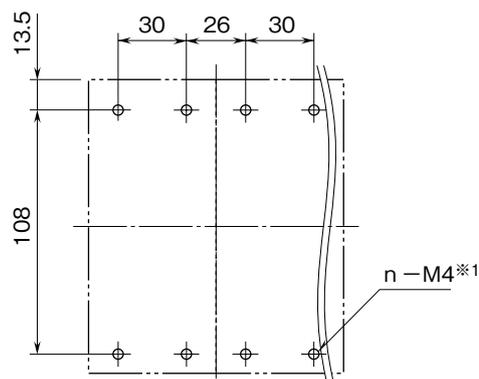


■壁取付の場合（単位：mm）

■R3-BS02、BS02P



■R3-BS04、BS06、BS08、BS10、BS12、BS14、BS16

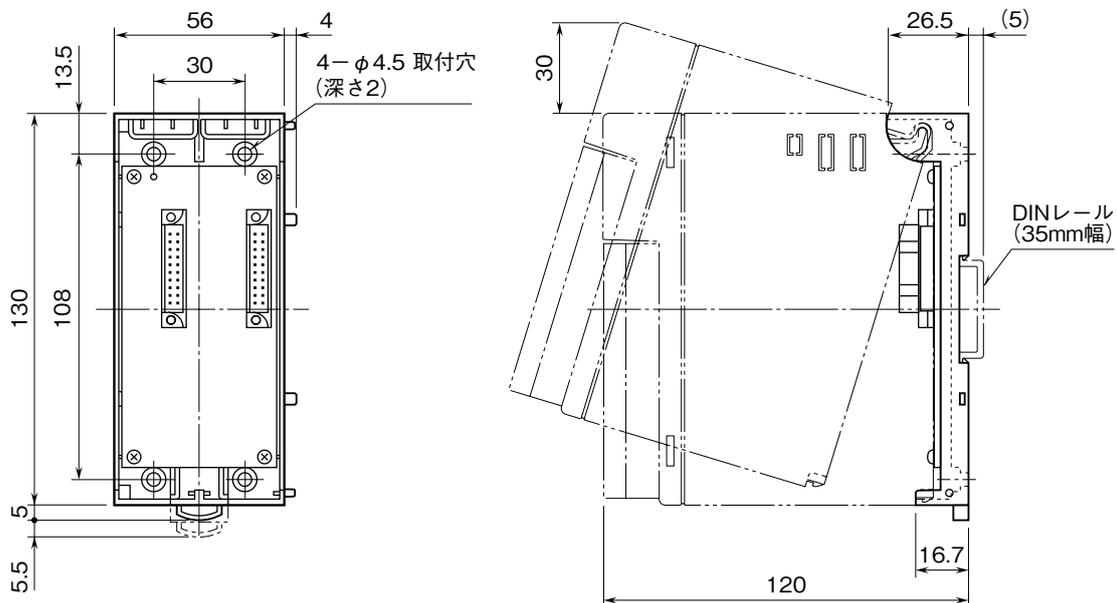


※1、nはスロット数×2

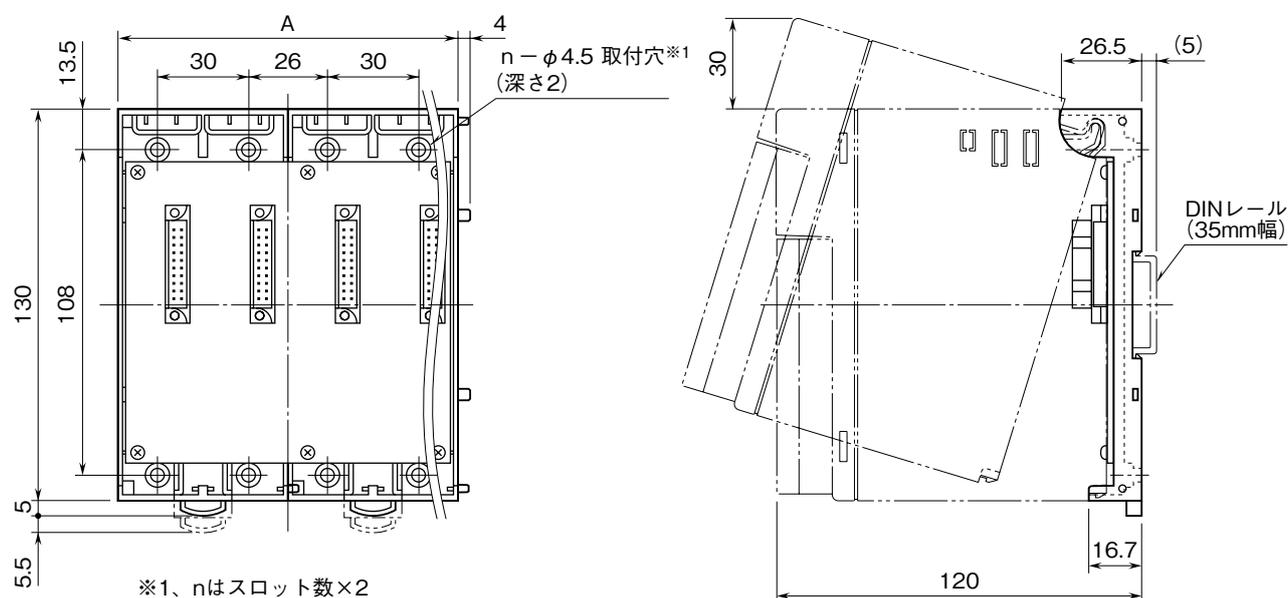
接 続

外形寸法図 (単位: mm)

■R3-BS02、BS02P



■R3-BS04、BS06、BS08、BS10、BS12、BS14、BS16



形式	寸法	A
R3-BS04		112
R3-BS06		168
R3-BS08		224
R3-BS10		280
R3-BS12		336
R3-BS14		392
R3-BS16		448

保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。